

ITスペシャリスト科

卒業制作1

対象	4年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	大繩			実務 経験	無	職種	0				

授業概要

在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の制作や自由研究を行います。

到達目標

仕事をする上で必要なコミュニケーション能力を身につけ、授業で学んできたことを仕事に活かせる技術力にし、IT分野の技術動向を知り、自分たちで活用できるようになり、さらにプロジェクトマネジメント能力またはプロジェクトに適切に協力して推進させることができることを目標とする。

授業方法

卒業制作2の前段の科目である。卒業制作2の実施に先駆け、グループ作成とグループで取り組む制作物を決める。また、制作物については、機材調達や制作期間、技術的要素の観点から、実現性を考慮し、決定する。グループ作業では、タスクの洗い出し・役割分担・スケジューリングを行う。授業の最後に、中間発表を行う。(最終的な発表は、卒業制作2で行う)

成績評価方法

作品の内容や完成度、中間発表や最終発表の内容、グループ作業の状況などを総合的に評価する。

履修上の注意

卒業制作は、必ず2名以上のグループで行うこととする。タスクの洗い出しと分担およびスケジューリングをしっかりと行い協力して進めること。提出物は期日を守り必ず提出すること。評価は基本的にはグループ単位で行うので、グループ全体で責任を持って活動すること。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

各グループごとに必要に応じて書籍を使用して良い。インターネットの情報や図書館の書籍も積極的に活用すること。

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション（卒業制作1の実施趣旨、目標、進め方、および評価方法を理解する）
第2回	制作物の検討一個別一（1）（制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術を一人ひとり列挙する）
第3回	制作物の検討一個別一（2）（制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術を一人ひとり絞る）

卒業制作1

第4回	発表 (1) (制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術について一人ひとり発表する)
第5回	発表 (2) (制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術について一人ひとり発表する)
第6回	グループ作成 (グループが決定する)
第7回	制作物の検討－グループ－ (1) (制作してみたいアプリケーションやサービス、使ってみたい機材や技術を列挙する)
第8回	制作物の検討－グループ－ (2) (具体的な制作物について、2~3候補を挙げる)
第9回	実現性確認 (1) (調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる)
第10回	実現性確認 (2) (調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる)
第11回	実現性確認 (3) (調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる)
第12回	実現性確認 (4) (調達機材や、制作期間や、技術要素などの観点から、実現性があるかどうかを調べる)
第13回	実現性確認 (5) (実現性確認の結果を踏まえ、制作物を1つに決定する)
第14回	計画 (1) (中間発表までの計画が作成できる)
第15回	計画 (2) (制作物と計画について担当教員の承認をうける)